

**Deloitte.**

デロイト トーマツ



**L2-Tech**

**2016年度冬L2-Tech認証 説明会**

デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社

# アジェンダ

## 1. L2-Tech事業の概要について

- L2-Tech事業の概要
- L2-TechリストおよびL2-Tech水準表の概要
- 2016年度の取組みとスケジュール

## 2. L2-Tech認証について

- L2-Tech認証の概要
- 2016年度冬L2-Tech認証の実施要領

## 3. L2-Tech事業に関するお知らせ

- L2-Techの購買者向け普及促進ツールの予告
- L2-Tech対象設備・機器等の重点的な拡充の方向性の予告
- L2-Tech Webサイトの予告

## 4. 質疑応答

(別添資料)

- 2016年度冬L2-Tech認証 実施要領
- L2-Tech認証 申請書作成ガイド
- 2016年度冬版L2-Tech水準表
- L2-Tech認証についてのアンケート

# 1. L2-Tech事業の概要について

- **L2-Tech事業の概要**

# 「2050年80%削減」を実現するために先導的な低炭素技術の普及促進が必要

## 趣旨と背景

「地球一個分」という環境制約の下、大量生産・大量消費型の社会から脱却し、国民一人ひとりが真に豊かな低炭素社会を実現し、**2050年までに80%の温室効果ガス排出削減を実現**するためには、エネルギー起源二酸化炭素の排出が極めて少ない**先導的な低炭素技術の普及促進**が必要です。

平成26年3月、環境大臣が「L2-(エルツー)Tech(テック)・JAPAN(ジャパン)イニシアティブ」を発表しました。この取組は、二酸化炭素排出削減につながる先導的な低炭素技術に関する情報を整備するとともに、国内外に発信して技術を導入する際の参考として頂き、大幅なエネルギー起源二酸化炭素の排出削減を推進し、低炭素社会の構築をめざすものです。

### 中長期目標

- **2030年**  
約束草案の目標  
国内の排出削減・吸収量の確保により、2030年度に2013年度比▲26.0%の水準にする
- **2050年**  
第4次環境基本計画  
長期的な目標として2050年までに80%の温室効果ガスの排出削減を目指す。

### 環境省におけるL2-Tech事業

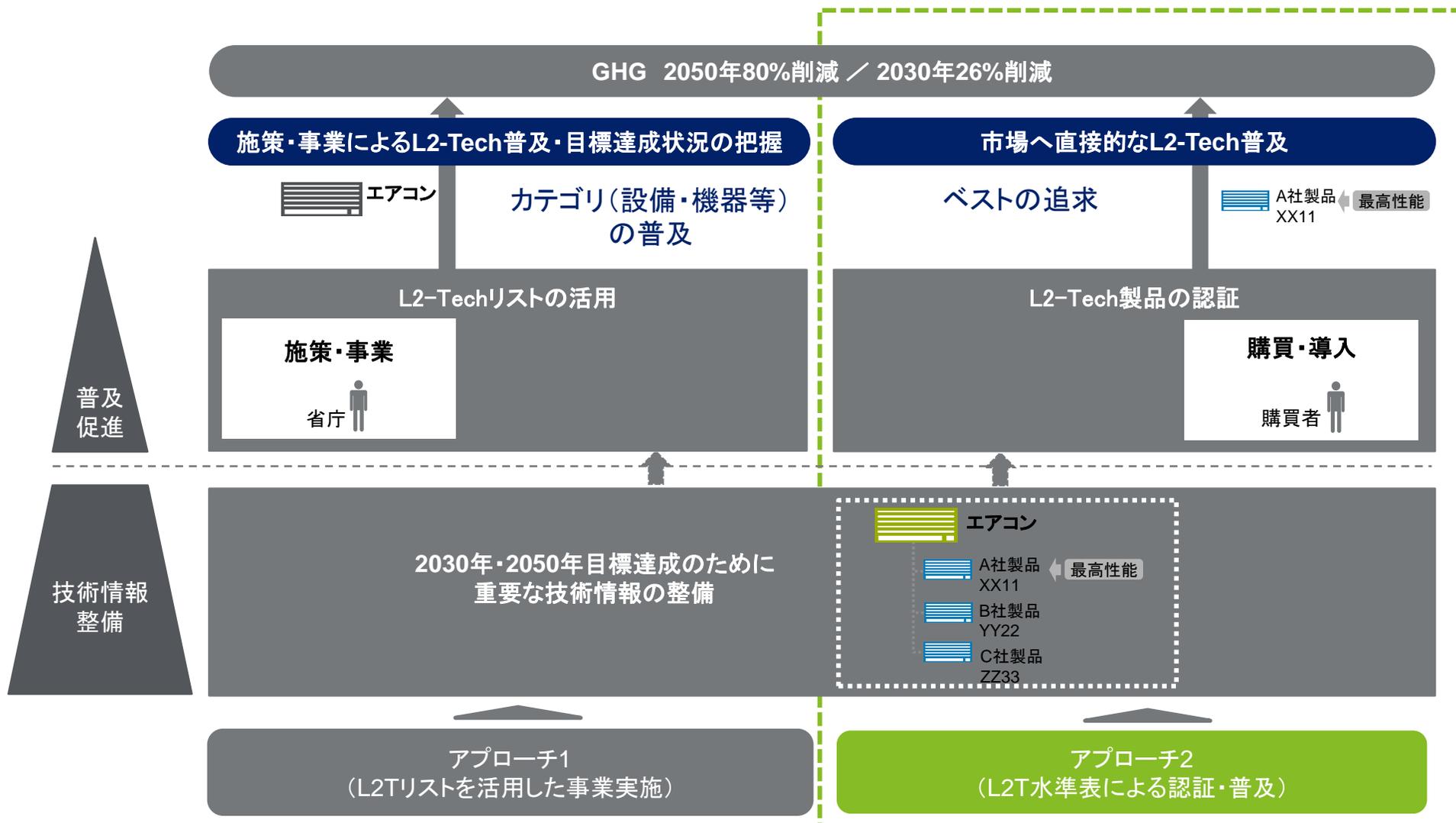
#### L2-Tech事業の方針

ベストを追求する発想でエネルギー効率等が極めて高くCO2削減に最大の効果をもたらす技術を特定し、普及促進する

- **2014年3月**  
L2-Techイニシアティブ発表
- **2015年3月**  
平成26年度L2-Techリストの公開
- **2015年10月**  
L2-Tech2015年度夏 認証製品リストの公開

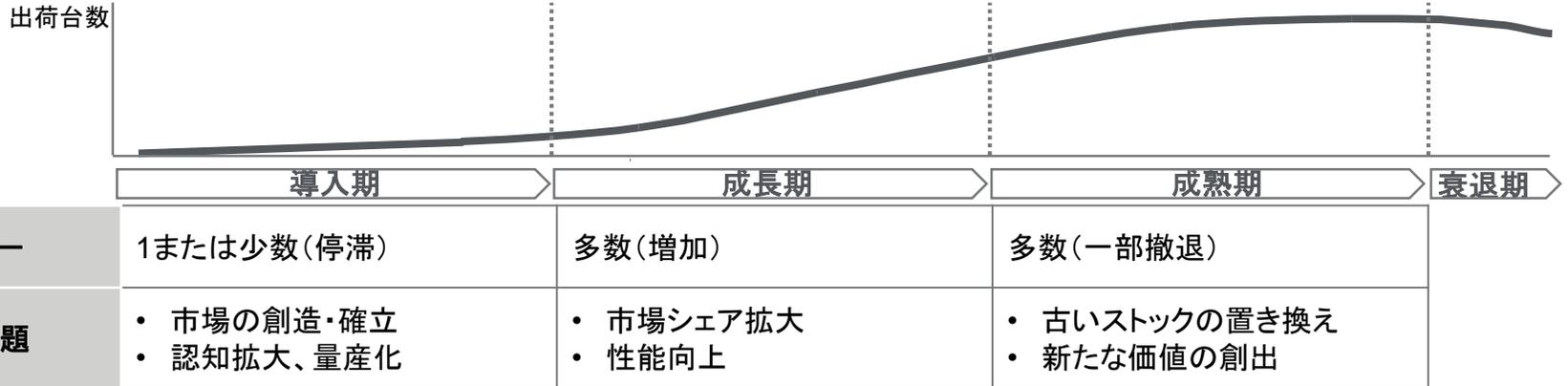
# 「事業を通じた普及」「市場へ直接的な普及」の2アプローチにより目標達成を目指す

## L2-Tech事業の構成



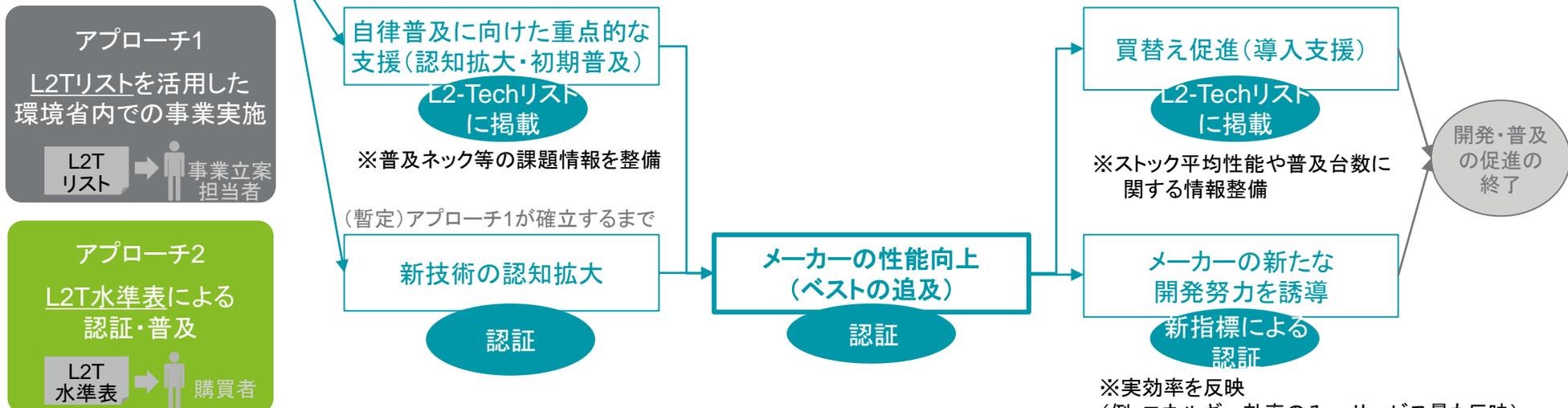
# 現在の認証によるベストの追及を終えた設備・機器等に対しては、「L2-Techリストによる買替え促進」や「新指標による認証」へ、推進策をシフトすることを想定

## L2-Techを活用した開発・普及の促進



有望だが日の当たっていない技術

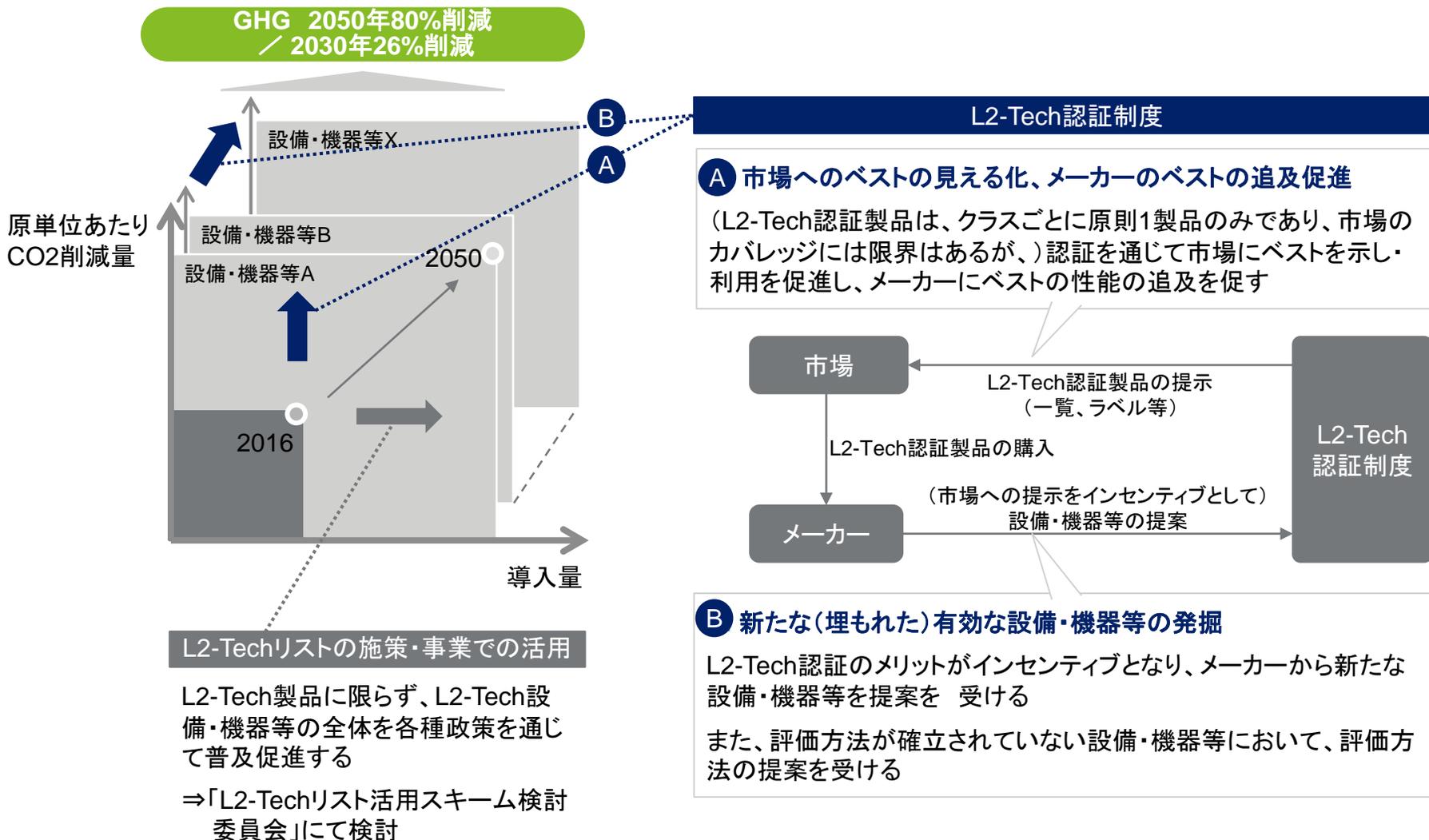
### L2-Techを活用した開発・普及の促進



※実効率を反映  
(例:エネルギー効率のみ→サービス量も反映)

# L2-Tech認証は「市場にベストの製品を示すこと」「新たな設備・機器等の発掘」を担う

## L2-Tech事業におけるL2-Tech認証制度の役割



# 様々な利用者へのアプローチにより認証製品の導入を促進する

## L2-Tech認証取得のメリット : L2-Tech認証製品の利用者を通じた普及促進

### L2-Tech製品における利用者へのアプローチ

設備・機器等	L2-Tech2015製品
ガスヒートポンプ	A社 XYZ123A-4
...	...
...	...



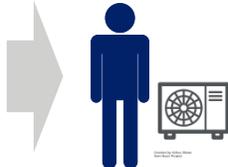
#### 【より広く認知される】

- 環境省ホームページで認証製品リストの公表や関連報道機関への発表等(年1,2回)される。
- 環境省の様々なイベント、会議等において活用(認証製品一覧の紹介等)される。

#### 【後押しを受けていることをアピールできる】

- 「環境省が当該年度のCO2削減効果において最高水準であることを認証した製品」であることを広報に活用できる。  
※名称使用に関する規則を順守のこと

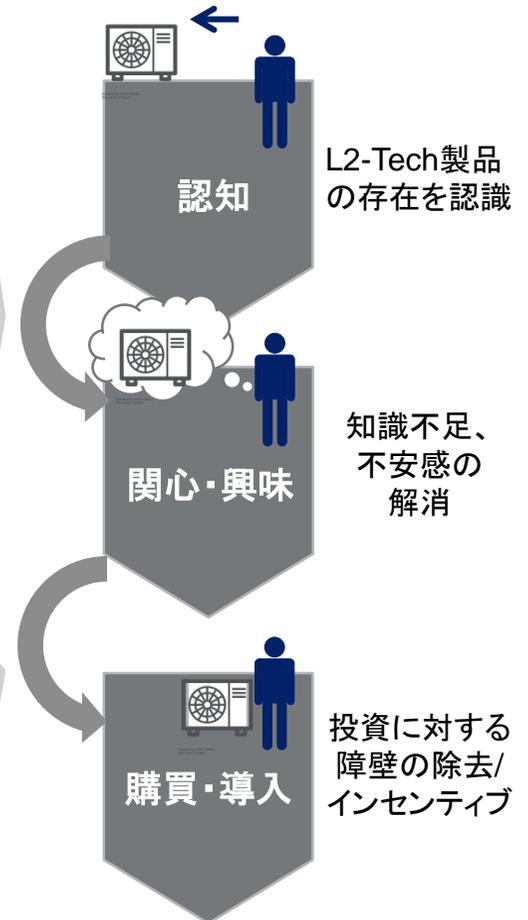
製品の実証・導入等に対する支援



#### 【環境省の様々な事業で活用、支援が期待される】

- 環境省の様々な設備・機器等の実証・導入支援事業において参照される。
- 利用者に対する導入、運用の支援強化(事例の共有化等)

### 利用者による導入プロセス

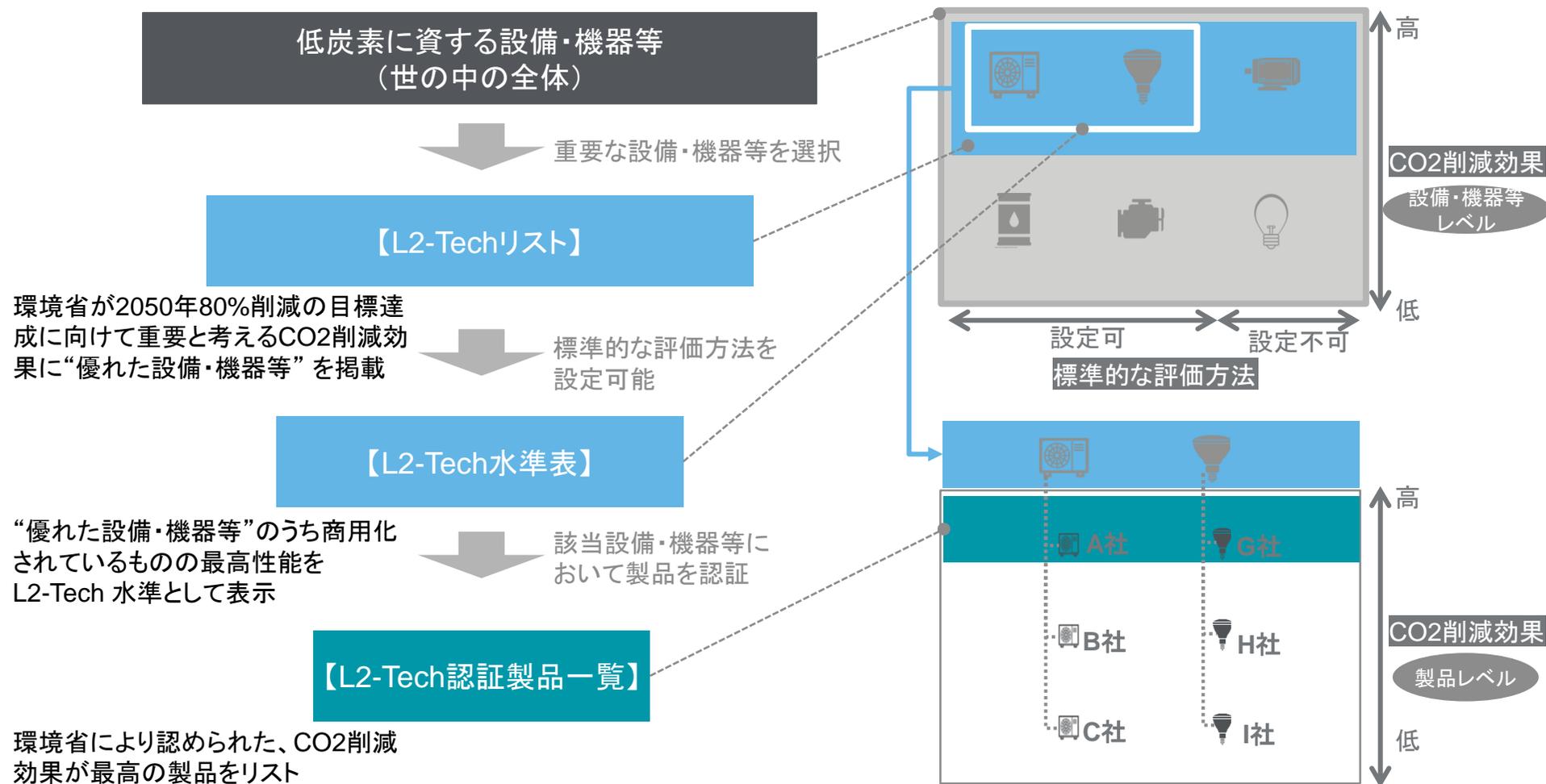


- **L2-TechリストおよびL2-Tech水準表の概要**

# L2-Techリストは環境省がCO2削減に重要と考える設備・機器等(カテゴリ)のリスト

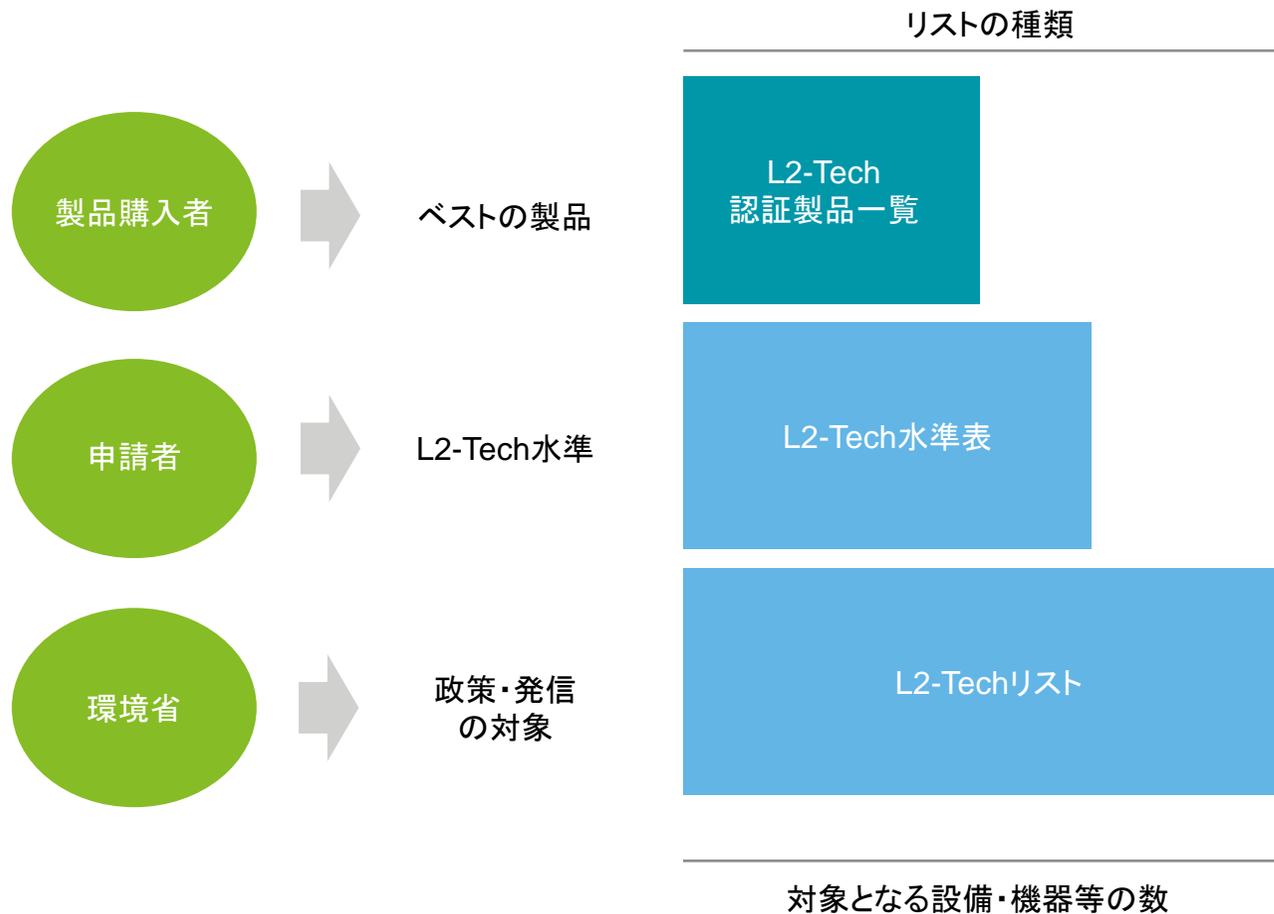
## L2-Tech認証製品一覧はL2-Techリストの中で当該年度でCO2削減効果が最高の製品リスト

### L2-Techに関する技術・製品情報の構成



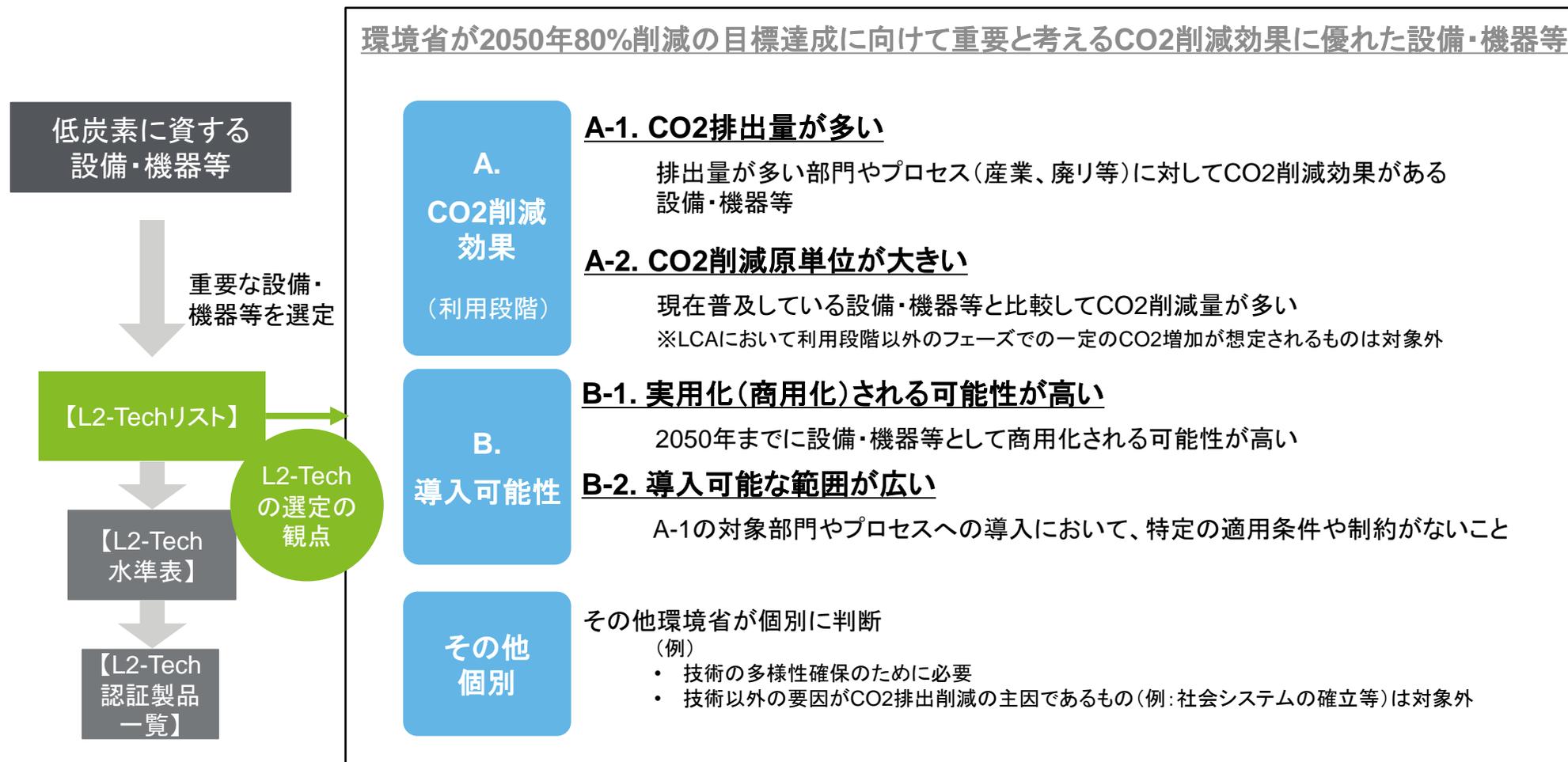
# (参考)用途・利用者に応じて「リスト」「水準表」「認証製品一覧」を整理している

## L2-Tech関連の技術情報の構成



# “2050年80%削減に重要な設備・機器等”を削減効果と導入可能性の観点で選定

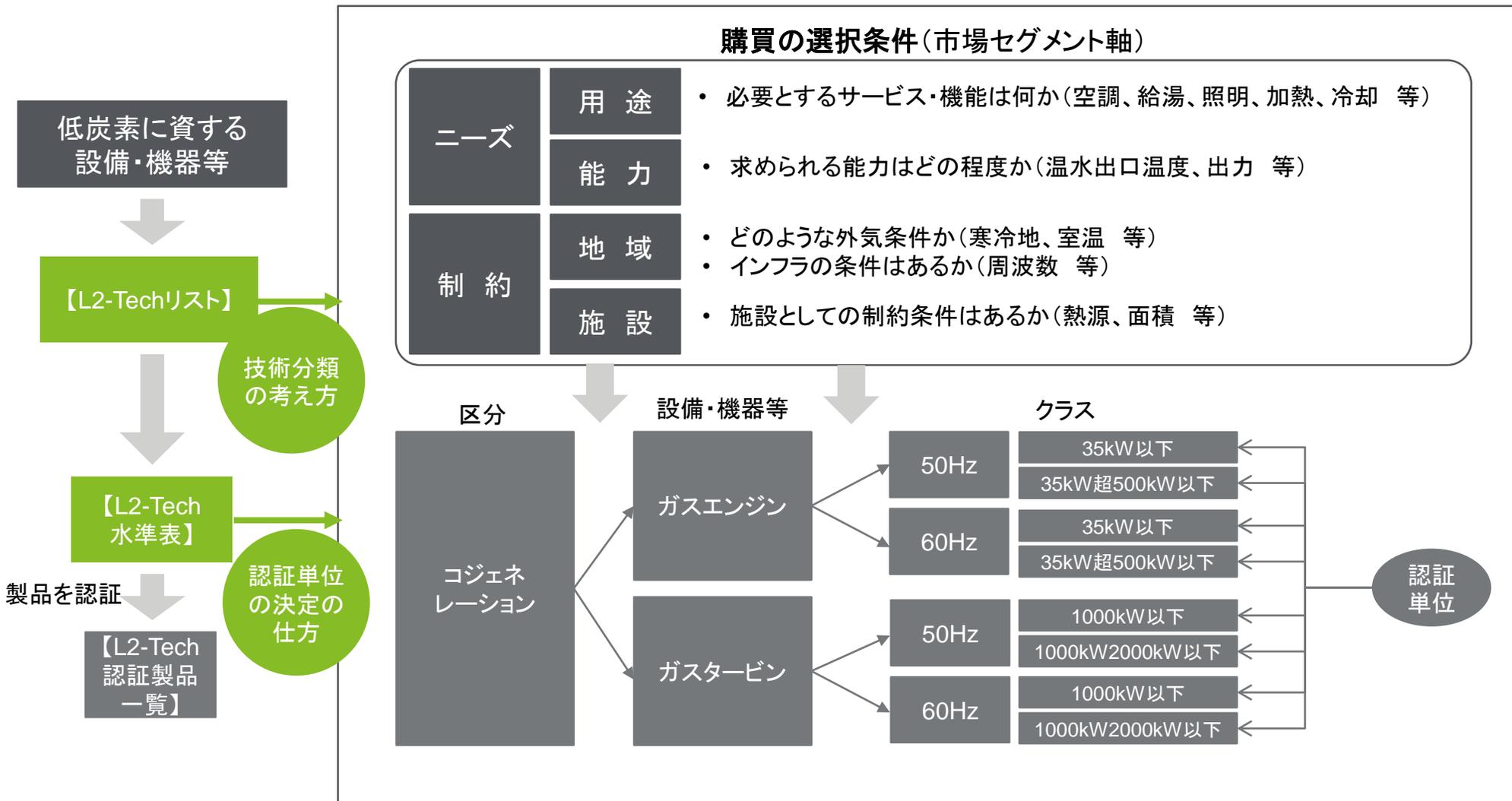
## L2-Techの選定観点



※部門や技術分野において下記以外の個別の条件を適用しているケースもある

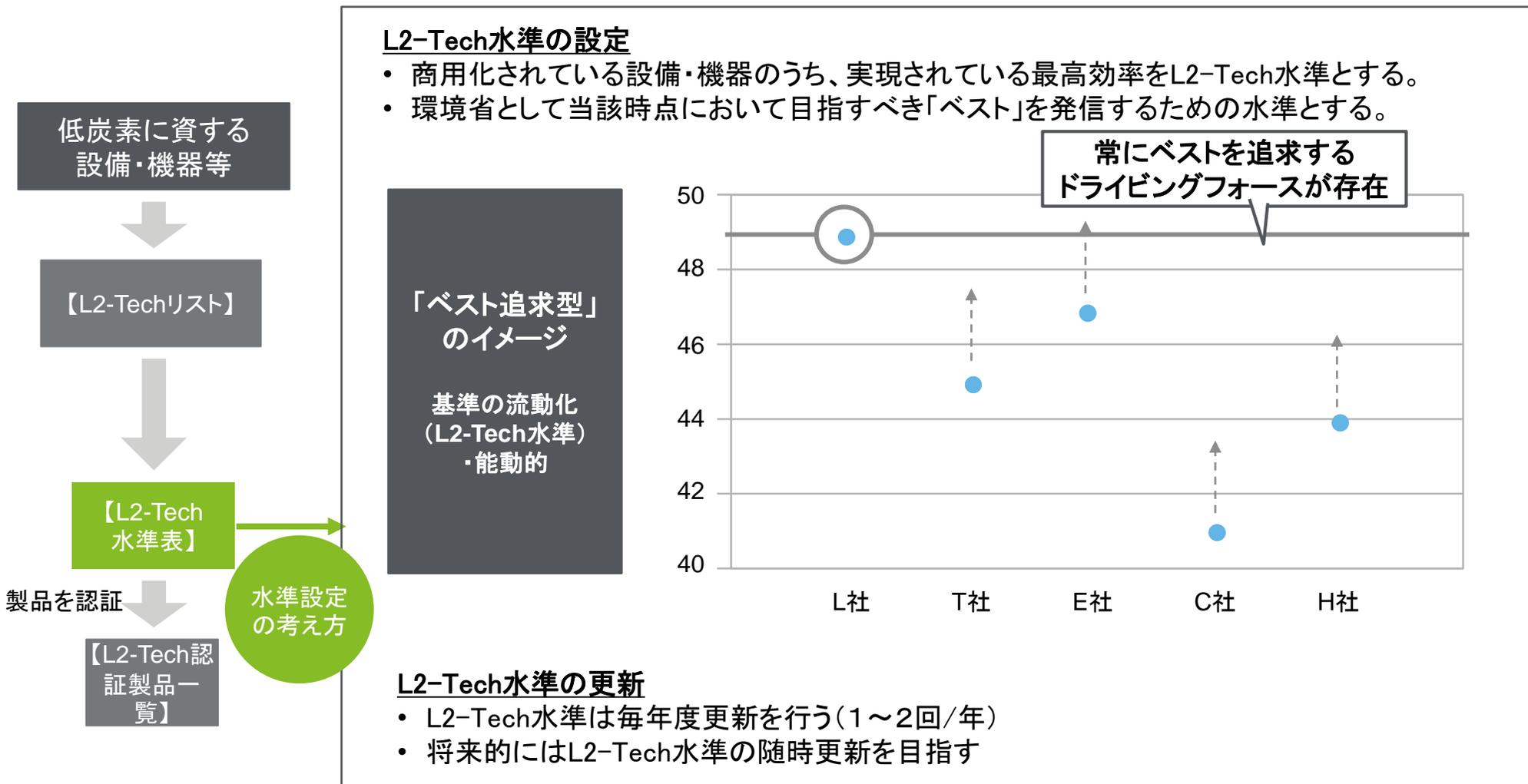
# 購買の選択条件により設備・機器等およびクラスを分類し、認証単位を導く

リストに掲載する技術分類の考え方(認証単位の決定の仕方)



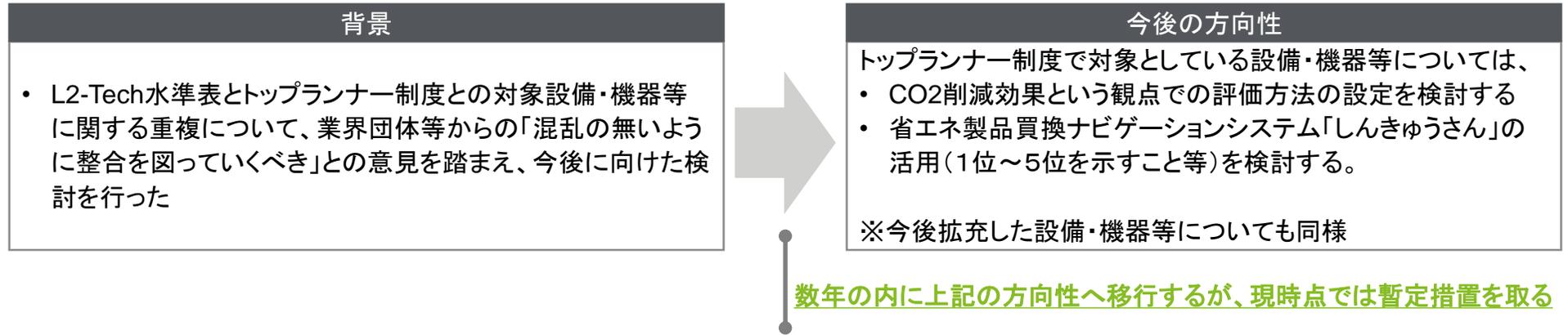
# 該当設備・機器等の中で最も高い性能をL2-Tech水準とする

## L2-Tech水準表に基づきベストを認証

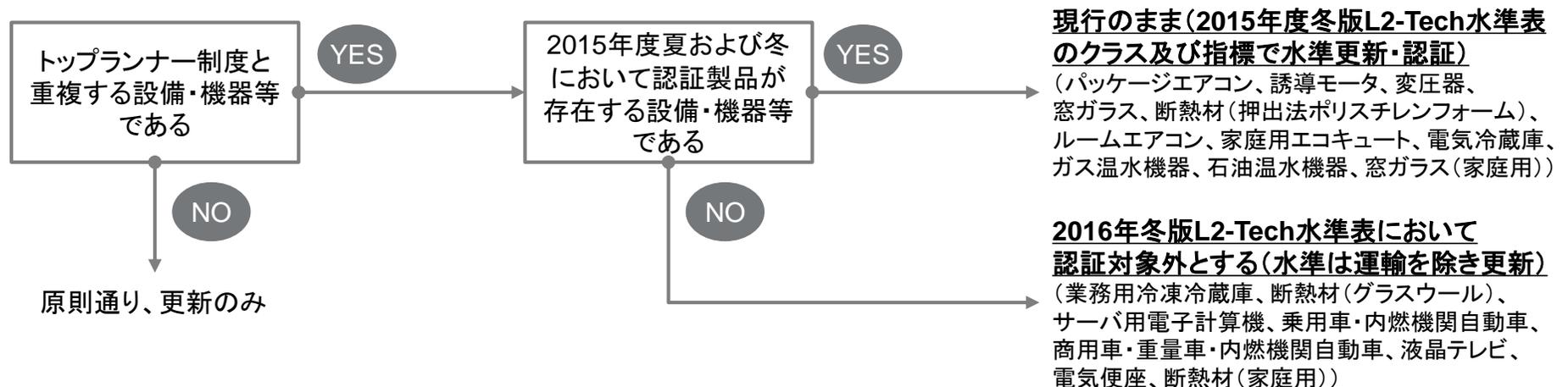


# 2016年冬版以降のL2-Tech水準表の方向性について、今後に向けて検討を進めつつ、2016年度冬版では夏版に引き続き暫定措置を取って対応する

## トップランナー制度との重複設備・機器等に関する対応



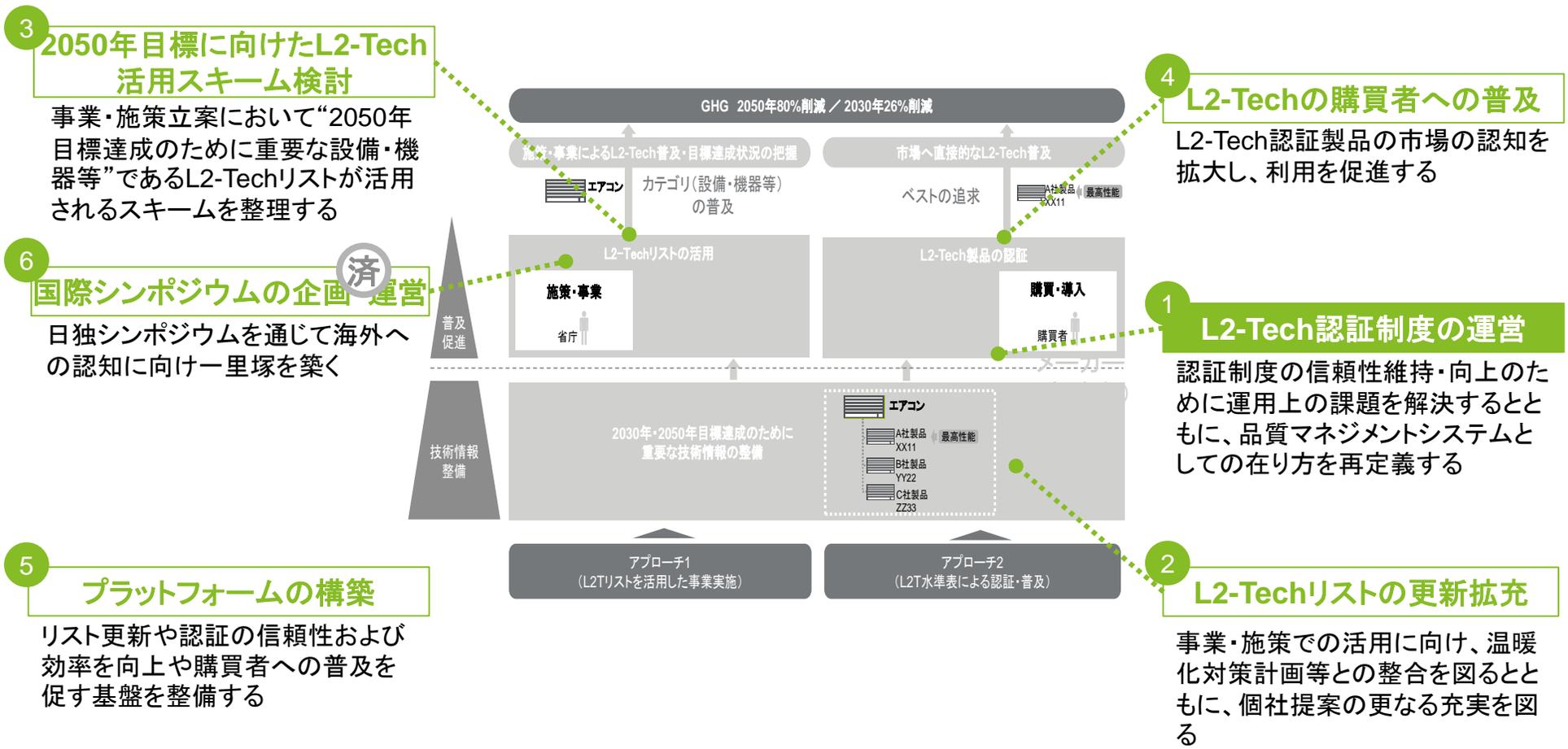
## 2016年度冬版L2-Tech水準表の作成における暫定措置



- **2016年度の取組みとスケジュール**

# 目指す姿実現に向け、本年度は6つのテーマを推進している

## 本年度の取組みテーマ

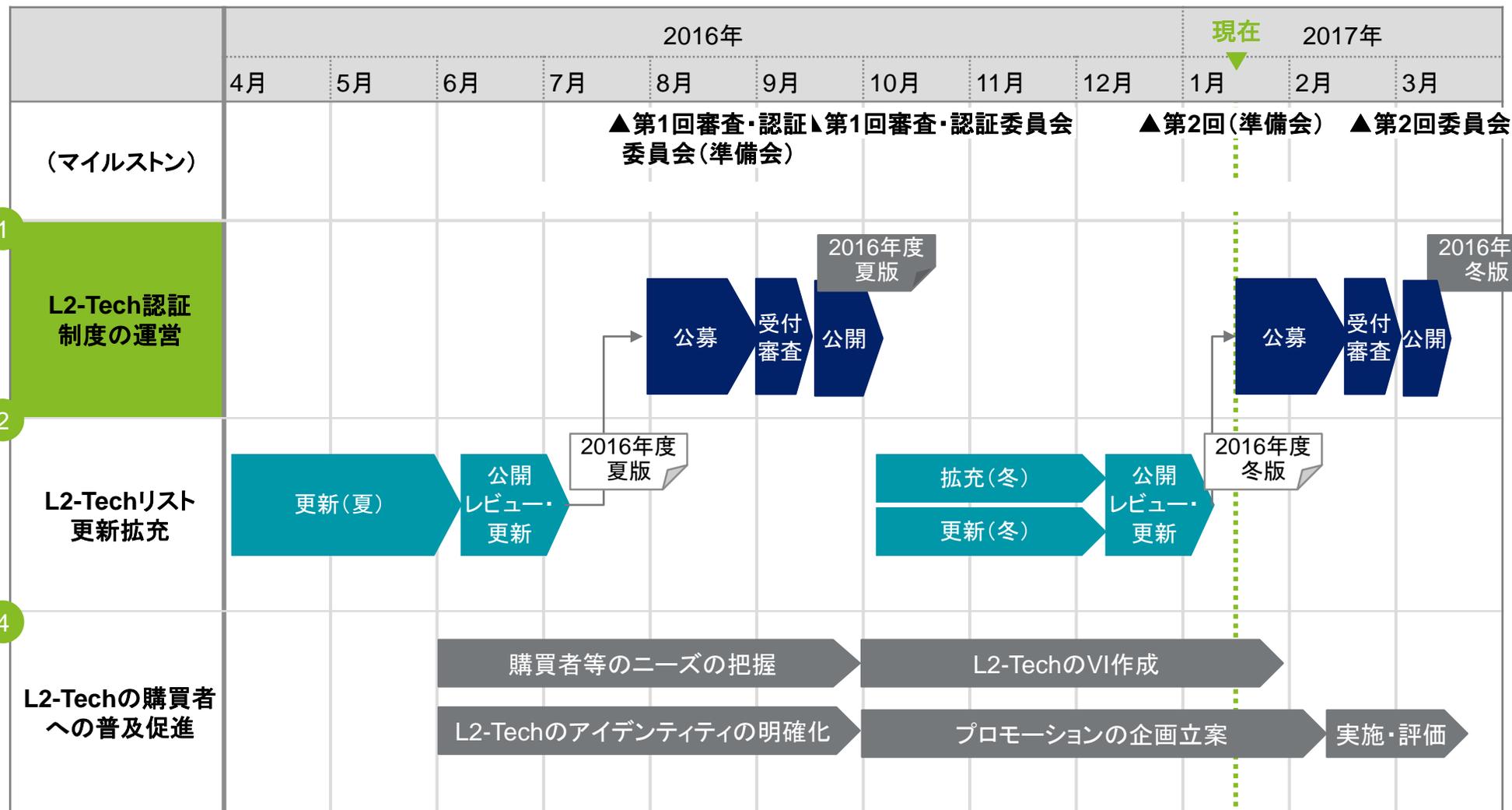


# 本年度冬に向け拡充・更新したL2-Tech水準表を用いて審査・認証を行う

## 平成28年度業務実施スケジュール

 : L2-Techリスト／L2-Tech水準表

 : L2-Tech認証製品一覧

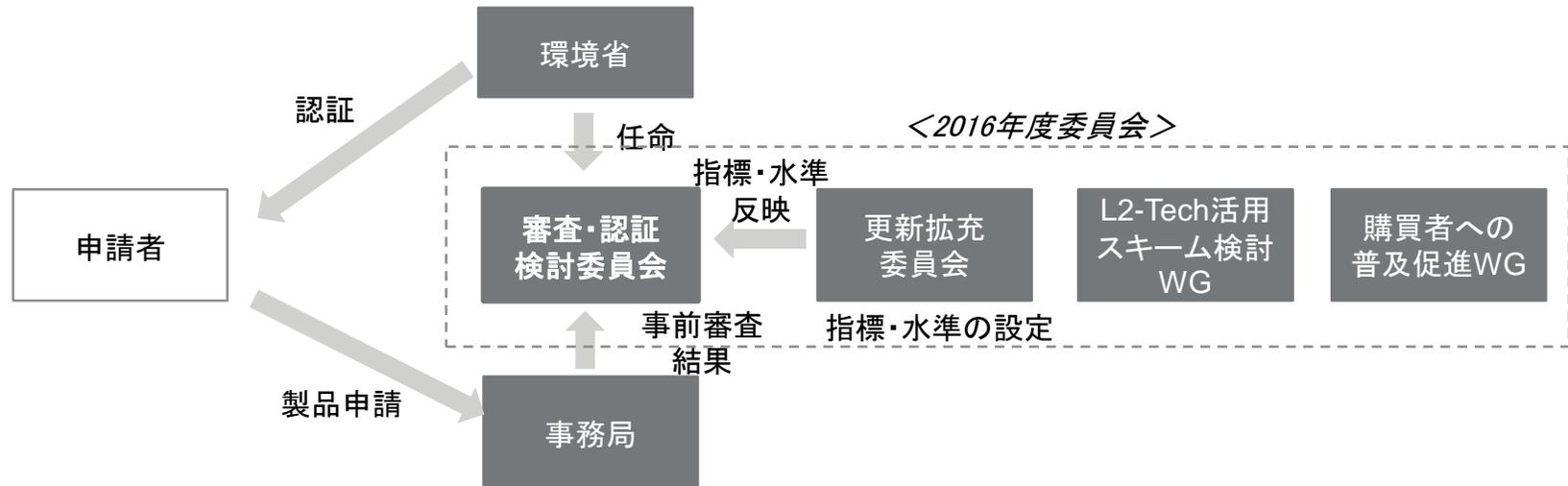


## 2. L2-Tech認証について

- **L2-Tech認証の概要**

# 有識者からなる審査・認証委員会がL2-Tech製品等を審査し、環境省が認証します

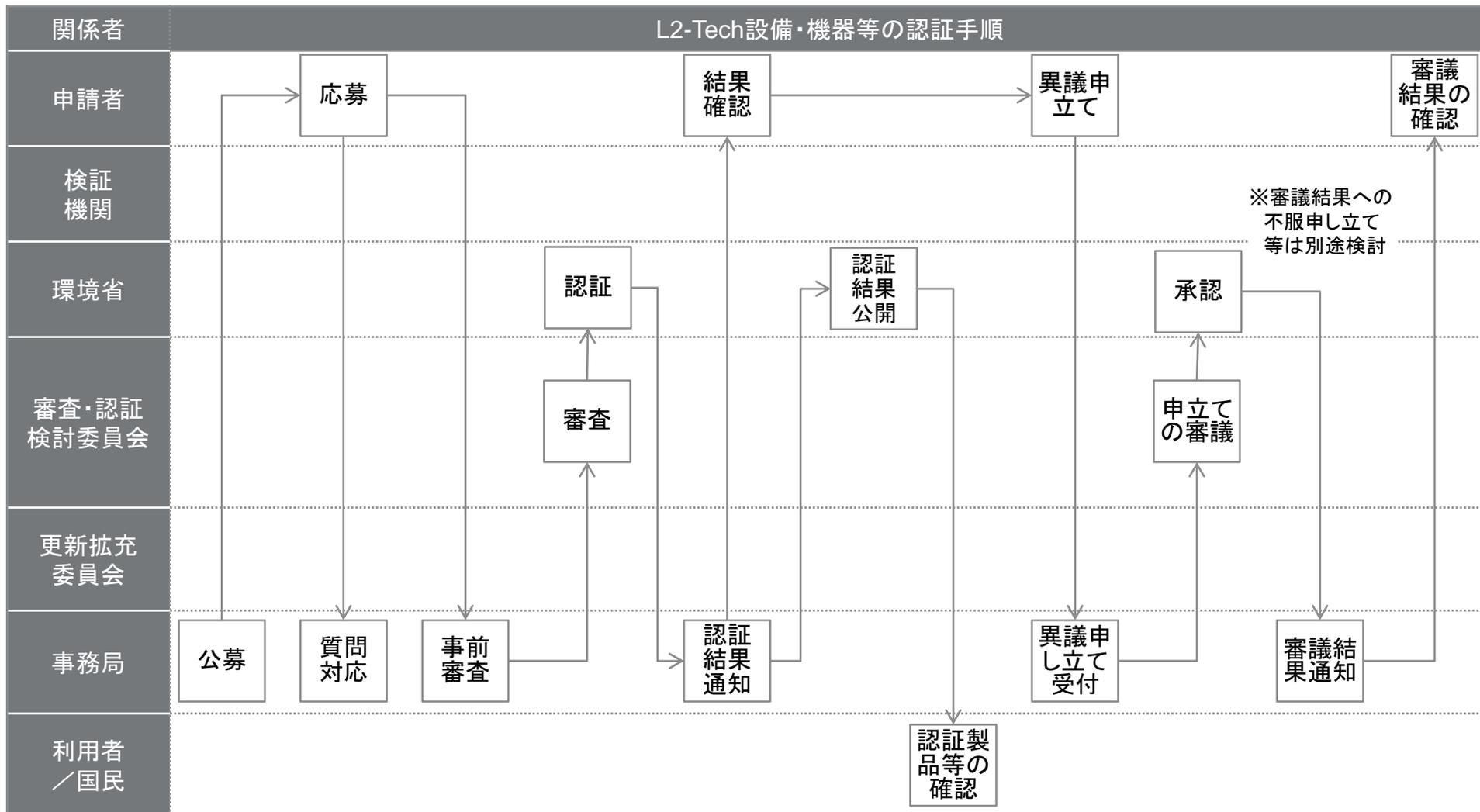
## L2-Tech審査・認証を担う組織



委員会名	役割	委員の人数
審査・認証検討委員会	<b>L2-Tech認証制度の制定・運用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>L2-Tech認証制度に関する審査基準案及び改訂案の承認、実施規則案及び改訂案の承認、異議申立ての審議</li> <li>L2-Tech水準を満たす製品の審査</li> <li>その他L2-Tech認証制度のあり方の審議</li> </ul>	4名
更新拡充委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>掲載設備・機器等の選定</li> <li>指標・水準の設定</li> </ul>	5名
L2-Tech活用スキーム検討WG	<ul style="list-style-type: none"> <li>GHG排出削減の中長期目標達成に向けたL2-Techの活用プロセス・役割の検討</li> </ul>	5名
購買者への普及促進WG	<ul style="list-style-type: none"> <li>購買者への普及促進策に関する意見提起</li> </ul>	2名

# 審査結果は、申請者に通知するとともに環境省により一般公開します

## L2-Tech認証プロセスの概要



- **2016年度冬L2-Tech認証の実施要領**

# 1月13日(金)より2016年度冬L2-Tech認証の公募を開始する

## 2016年度冬L2-Tech認証の実施概要

### 募集期間

平成29年1月13日(金)～2月10日(金)17時(事務局必着)

### 募集対象製品 ・事業者

(対象製品)

- ① L2-Tech水準表に掲載されている設備・機器等に該当する製品
- ② 発売済または2017年3月10日までに発売予定の製品
- ③ 国内で製造または販売している製品

(対象事業者)

対象設備・機器等を製造または販売している日本法人

### 審査項目

- ① 募集対象製品であること。
- ② 技術の原理・しくみが科学的に説明可能であること。
- ③ 申請された製品の性能が、「L2-Tech水準」と一致している、または「L2-Tech水準」よりも優れていること。
- ④ 申請された製品の性能が、L2-Tech水準表に記載されている計算方法、および試験条件に準拠して算出されたものであること。

# (参考)申請に必要な書類は全て環境省HP報道発表からダウンロード可



報道発表資料

平成29年1月13日

地球環境

## 2016年度冬版L2-Tech水準表の公表およびL2-Tech製品情報の募集開始について

環境省は先導的（Leading）な低炭素技術（Low-carbon Technology）＝L2-Tech（エルツーテック）の普及・拡大を目的として、幅広くメーカーからのL2-Tech製品情報の募集を行っています。

この度、先導的な低炭素技術を有する設備・機器等に関して、業界団体等から情報を収集し、当該技術に専門的知見を有する有識者からも御意見をいただきながら、科学技術的・客観的観点から情報を整理した上で、平成28年12月15日付の「2016年度冬版L2-Tech水準表の意見募集」による御意見を反映し、「2016年度冬版L2-Tech水準表」としてまとめたので、公表します。

同時に、同水準表に基づいたL2-Tech製品の認証実施に向け、募集を開始します。期間は、1月13日（金）より2月10日（金）17時（必着）までです。

### 添付資料

- [資料1 2016年度冬L2-Tech認証 実施要領 \[DOCX 61 KB\]](#) 
- [資料2 2016年度冬L2-Tech認証 申請書 \[XLSX 213 KB\]](#) 
- [資料3 L2-Tech認証 申請書作成ガイド \[PDF 491 KB\]](#) 
- [資料4 2016年度冬版L2-Tech水準表 \[PDF 1.8 MB\]](#) 
- [資料5 平成28年度版L2-Techリスト \[PDF 1.4 MB\]](#) 
- [資料6 2016年度冬版L2-Tech水準表の主な変更点 \[PDF 451 KB\]](#) 
- [資料7 2016年度冬版L2-Tech水準表（素案）に対する意見の回答 \[PDF 367 KB\]](#) 
- [資料8 L2-Tech認証制度 実施規則 \[DOCX 146 KB\]](#) 

## 提出書類(通常申請・簡易申請)

区分	提出書類	通常申請	簡易申請
申請資料	【様式1】申請書	必須	必須
	【様式2】申請製品リスト	必須	必須
	【様式3】申請用チェックリスト	必須	必須
	【別紙1】商用化に関する誓約書	必要な場合	不要
	【別紙2】計算方法・試験条件に関する誓約書	必要な場合	不要
	【別紙3】派生型番に関する誓約書	必要な場合	必要な場合
確認資料	商用化確認資料	必須	不要
	性能確認資料	必須	不要
	原理・しくみ確認資料	必須	不要

詳細後述

詳細後述

※「申請資料」は、フォーマットあり(2016年度冬L2-Tech認証 申請書)

※「確認資料」は、フォーマットなし(各社で資料を用意してください)

※「申請資料」は申請者ごとに1種類、「確認資料」は親型番ごとに1種類、準備が必要です

# 確認資料の内容と条件

## ■ 商用化確認資料

発売済であることまたは3月10日までに発売予定の製品であることを確認できる資料

## ■ 性能確認資料

申請した製品の性能、計算方法、および試験条件が明記されている資料

## ■ 原理・しくみ確認資料

L2-Tech水準表に記載されている「原理・しくみ」を確認・判別可能な資料

### 資料の条件

#### <基本対応>

- 提出いただく資料は、原則として申請者のWEBページにおいて広く公表されている必要があります。

#### <例外対応>

- 上記資料が用意できない申請者は、適当と認められた場合に限り、代替資料を確認資料として受付ける場合がありますので、個別に事務局までお問い合わせください。(別途誓約書の提出が必要)
- 性能確認資料のみ、L2-Tech水準表の「L2-Tech水準」に“\*(アスタリスク)”が付与されているクラスは、WEB公開資料の代わりに試験結果報告書(計算方法、試験条件が準拠していること)の提出も受け付けます。

#### <基本対応>

- 上記3種類の確認資料を、申請する製品(親型番)ごとに提出してください。

#### <例外対応>

- 一つの申請製品、または複数の申請製品に対して確認資料が同じ(例:同じカタログ内で商用化・性能・原理しくみを全て確認することができる資料等)である場合は、その共通化(複数の確認資料を一つの資料として提出すること)を認めます。

### 提出方法の条件

# (参考)「\*(アスタリスク)」は、水準表の水準値の欄で確認できます



L2-Tech水準の前に「\*」がついている場合は、性能確認資料として試験結果報告書を使用可

設備・機器等の名称	原理・しくみ	クラス		認証対象	クラスID	L2-Tech水準			
		条件	能力						
フロン類等冷媒ターボ冷凍機	蒸発器、圧縮機、凝集器、弁からなる。蒸発器内の冷媒を蒸発させ蒸発器内のパイプの中の循環水を冷やし、冷水として取り出して使用する機器。蒸発した冷媒は圧縮機で昇圧され、凝縮器内の冷却水で凝縮され液体に戻る。HFC冷媒またはHFO冷媒を使用している。	-	【冷却能力】						
			200RT未満	○				65	*6.04
			200RT以上300RT未満	○				66	*6.32
			300RT以上400RT未満	○				67	*6.31
			400RT以上500RT未満	○				68	*6.60
			500RT以上600RT未満	○				69	*6.50
			600RT以上700RT未満	○				70	*6.29
			700RT以上1000RT未満	○				71	*6.40
			1000RT以上1500RT未満	○				72	*6.50
			1500RT以上	○				73	*6.50





# 製品の写真画像ご提出をお願いします(任意)

## 製品の写真画像ご提出のお願いについて

### 背景

来年度開設予定のL2-TechWEBサイト(後述)にて、認証製品の画像を掲載予定

製品の写真画像のご提出をお願いします(任意)

### 写真画像 の条件

- 製品の全体像を表現する写真画像であること  
○: 製品の全体を示した写真画像  
×: 製品の一部のみを示した写真画像
- ファイル形式は、jpeg, gif, pngの何れか

### 提出方法 の条件

複数の申請製品に対し、同じ写真画像の使用を認めます  
※購買者の誤認を防ぐため、製品と写真画像の間に、乖離がないようお願いいたします

# 簡易申請について(対象機器・設備等の条件)

下記の条件を満たす設備・機器等を申請する場合に書類の提出を一部免除する

## ① 認証済み製品であること

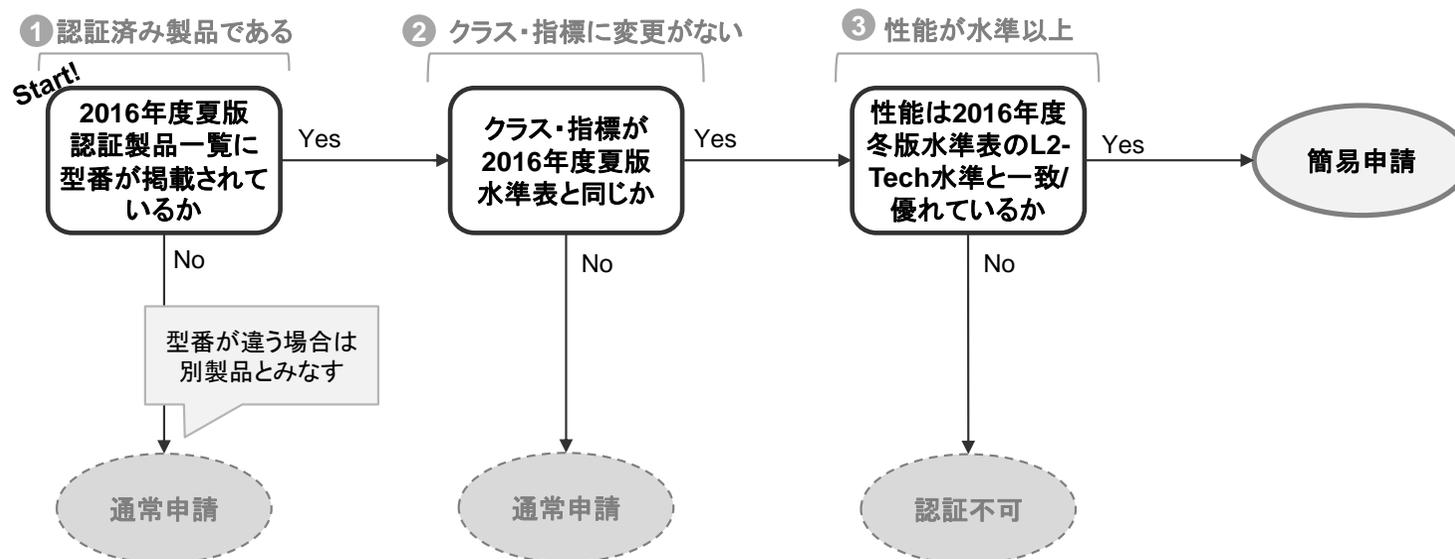
今回申請を行う製品の型番が、2016年度夏版認証製品一覧に掲載されていること。

## ② クラス・指標に変更がないこと

「2016年度冬版L2-Tech水準表」における該当製品のクラス(条件・能力)および指標が「2016年度夏版L2-Tech水準表」から変更がないこと

## ③ 性能がL2-Tech水準以上であること

該当製品の性能が「2016年度冬版L2-Tech水準表」のL2-Tech水準以上であること



## (参考)水準表で簡易申請対象クラスかどうかを確認できます

2016年度冬版 L2-Tech水準表



簡易申請の対象クラスには、  
認証対象欄に「●(黒丸)」が記載されています

設備・機器等の 名称	原理・しくみ	クラス		認証対象	クラスID	L2-Tech 水準		
		条件	能力					
ガスヒートポン プ	室外機内のコンプレッサの駆動をガスエンジ ンで行うヒートポンプ方式の空気調和 機。	-	【相当馬力数】	-	1	-		
			7.5HP以下			●	2	1.39
			7.5HP超10HP以下			○	3	1.86
			10HP超16HP以下			●	4	1.98
			16HP超25HP以下			●	5	1.91
25HP超								

認証対象	2016年度冬のL2-Tech認証制度において、募集対象となる設備・機器等を「○(または●*1)」、募集対象外の設備・機器等を「-(ハイフン)」として記載。 *1 簡易申請の対象となり得るクラス(条件・能力)に付与(詳細は、実施要領に記載)
クラスID	クラスごとにIDを付番。
L2-Tech水準	L2-Tech水準を記載。本水準は、指定された試験条件に基づき測定された結果を、指定の計算方法によって算出した値である。本水準は、2017年1月時点における値であり、かつ収集できた情報のうち最高性能の値を採用している。なお、「*(アスタリスク)」が付与されているクラスは、根拠資料として試験結果報告書の提出を受付可能であることを示す。(詳細は、実施要領に記載)

# 申請書類の提出期間と提出先

## (1)申請書類の提出期間

平成28年1月13日(金)～2月10日(金)17時必着とします。

## (2)申請書類の提出先・問合せ先

デロイト トーマツ コンサルティング 合同会社  
パブリックセクター(担当:近藤・村上・伊原・石津)  
「平成28年度L2-Tech認証制度 事務局」  
〒100-6390 東京都千代田区丸の内2-4-1 丸の内ビルディング  
TEL:03-6867-8916(受付時間:平日9:30～17:30まで)  
E-mail:l2-tech@tohmatu.co.jp

- ✓ 別添「資料1:2016年度冬L2-Tech認証 申請書」に必要事項を記入、押印の上、必要書類とともにExcel・PDF等で電子化し上記の提出先に電子メールで送信してください。(提出書類において、電子化が困難な資料等を含む場合、または容量が30MBを超える場合は、個別に事務局までご相談ください。)
- ✓ 申請のメールを送付いただいた後、事務局から送付する「受領確認メール」をもって申請完了となります。数日経っても「受領確認メール」が届かない場合は、事務局まで電話でお問い合わせください。

# 2016年度夏からの変更留意して申請をお願いします

## 2016年度夏からの主な変更点

### 様式2(申請製品リスト)について

- 水準表掲載のクラスIDを入力いただくことにより、“L2-Tech水準表の情報”が自動入力される仕組みとなりました
- 通常申請と簡易申請で様式1(申請書)が分かれていましたが、統一することとなりました
- 簡易申請において、問合せ先等の記入を省略していましたが、「確認資料ファイルNo.」および「確認資料URL」を除いては記入をお願いすることとなりました

### 様式3(チェックリスト)について

- 提出が必須の書類であるため、未記載である場合、原則審査を実施しないこととします

### 別紙について

- 別紙1にて商用化状況および評価方法、別紙2にて派生型番について誓約いただいていたが、商用化状況を別紙1、評価方法を別紙2、派生型番を別紙3にて、それぞれ誓約いただくこととなりました

# 下記の事案がないようにお願いします

## よくあるミス等

### 全体

- Excelを様式ごとに分割して申請する
- 派生型番をまとめず、数百型番申請する(別途ご相談いただけますと幸いです)

### 様式1(表紙)

- PDFのみを提出し、Excelを提出しない

### 様式2(申請製品リスト)

- 設備・機器等ごとに様式2を分けて提出する
- 1行おきに記載する
- 派生型番を親型番の直下に記載しない
- 「同上」と記載する
- メールアドレスやURLがリンク化されていない

### 様式3(チェックリスト)

- 未記載のまま提出する

### 別紙2(計算方法・試験条件に関する誓約書)

- 計算方法もしくは試験条件のうち一方しか誓約しない

### 確認資料

- マーカー等で所定部分がハイライトされていない

### 3. L2-Tech事業に関するお知らせ

- **L2-Techの購買者向け普及促進ツールの予告**

# L2-Techのロゴを2月から利用開始予定

## L2-Techのロゴ



購買者の認証製品への理解および普及促進を目的としたリーフレットを配布予定  
営業先等において、配布いただけるようお願いいたします

### リーフレットの目次(仮)

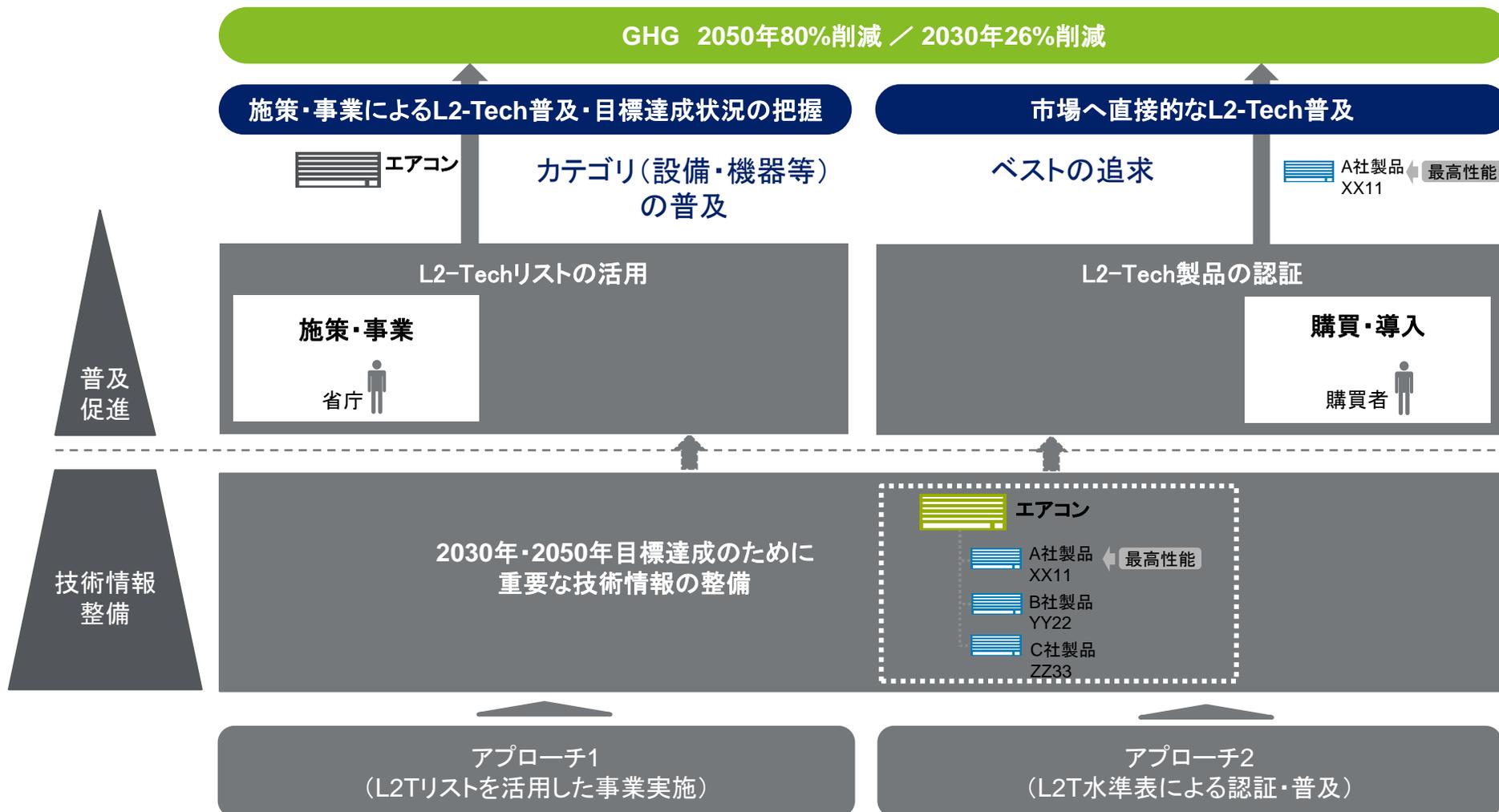
- L2-Tech認証制度の概要説明
- L2-Tech認証製品一覧の特徴
- L2-Tech認証の対象と導入先
- L2-Tech認証製品の環境省事業における活用
- まとめ

- **L2-Tech対象設備・機器等の  
重点的な拡充の方向性**

# CO2の2050年80%削減に向けて、L2-Techリストは、 省庁が行う施策立案時の参考情報として活用されることを目指しています

## L2-Tech事業の構成

再掲



# 現在の認証によるベストの追及を終えた設備・機器等に対しては、「L2-Techリストによる買替え促進」や「新指標による認証」へ、推進策をシフトすることを想定

## L2-Techを活用した開発・普及の促進

再掲

出荷台数



	導入期	成長期	成熟期	衰退期
参画メーカー	1または少数(停滞)	多数(増加)	多数(一部撤退)	
主な技術課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>市場の創造・確立</li> <li>認知拡大、量産化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市場シェア拡大</li> <li>性能向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古いストックの置き換え</li> <li>新たな価値の創出</li> </ul>	

有望だが日の当たっていない技術

## L2-Techを活用した開発・普及の促進

**アプローチ1**  
L2Tリストを活用した環境省内での事業実施

L2Tリスト → 事業立案担当者

**アプローチ2**  
L2T水準表による認証・普及

L2T水準表 → 購買者

自律普及に向けた重点的な支援(認知拡大・初期普及)

L2-Techリストに掲載

※普及ネック等の課題情報を整備

(暫定)アプローチ1が確立するまで

新技術の認知拡大

認証

メーカーの性能向上(ベストの追及)

認証

買替え促進(導入支援)

L2-Techリストに掲載

※ストック平均性能や普及台数に関する情報整備

メーカーの新たな開発努力を誘導

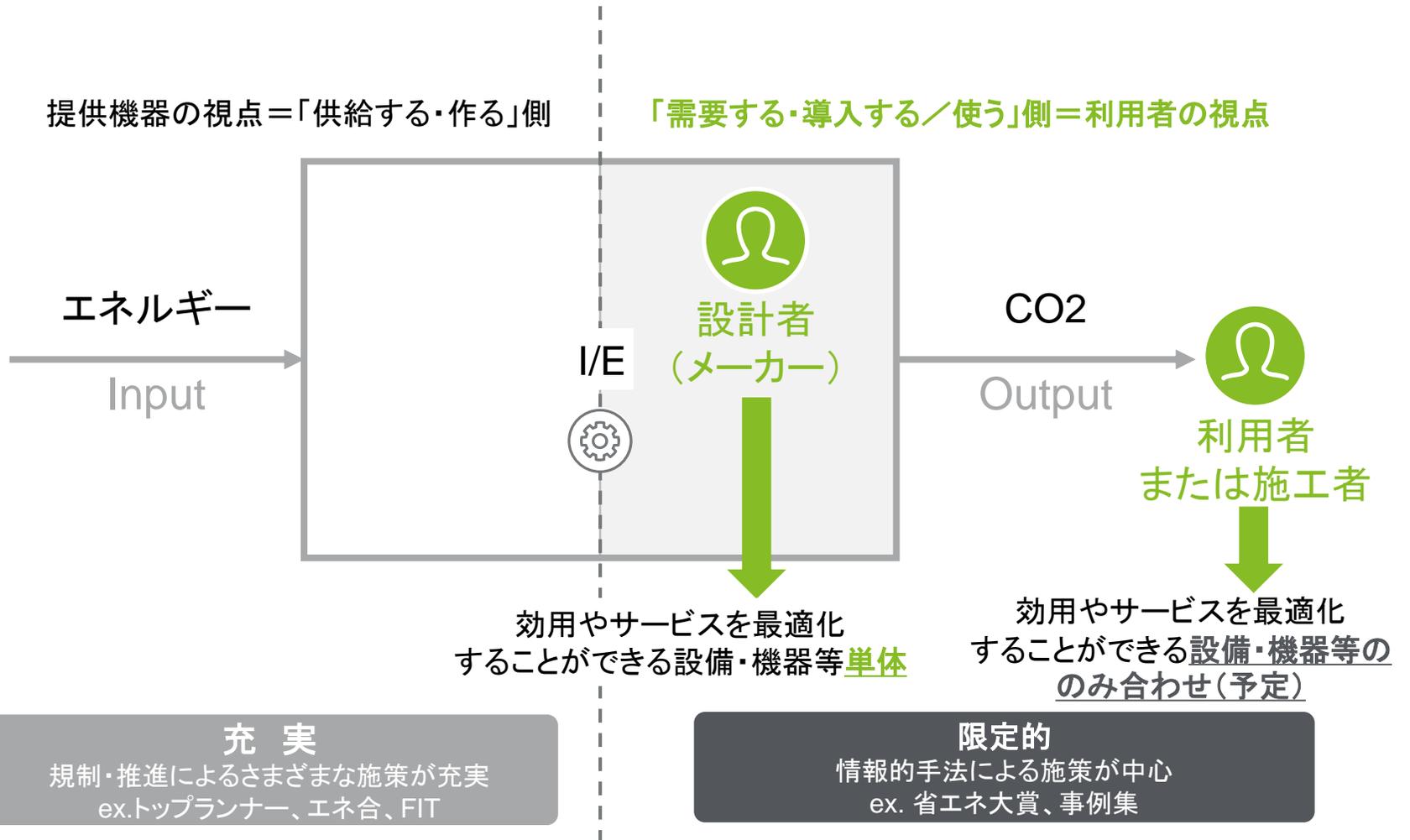
新指標による認証

※実効率を反映  
(例:エネルギー効率のみ→サービス量も反映)

開発・普及の促進の終了

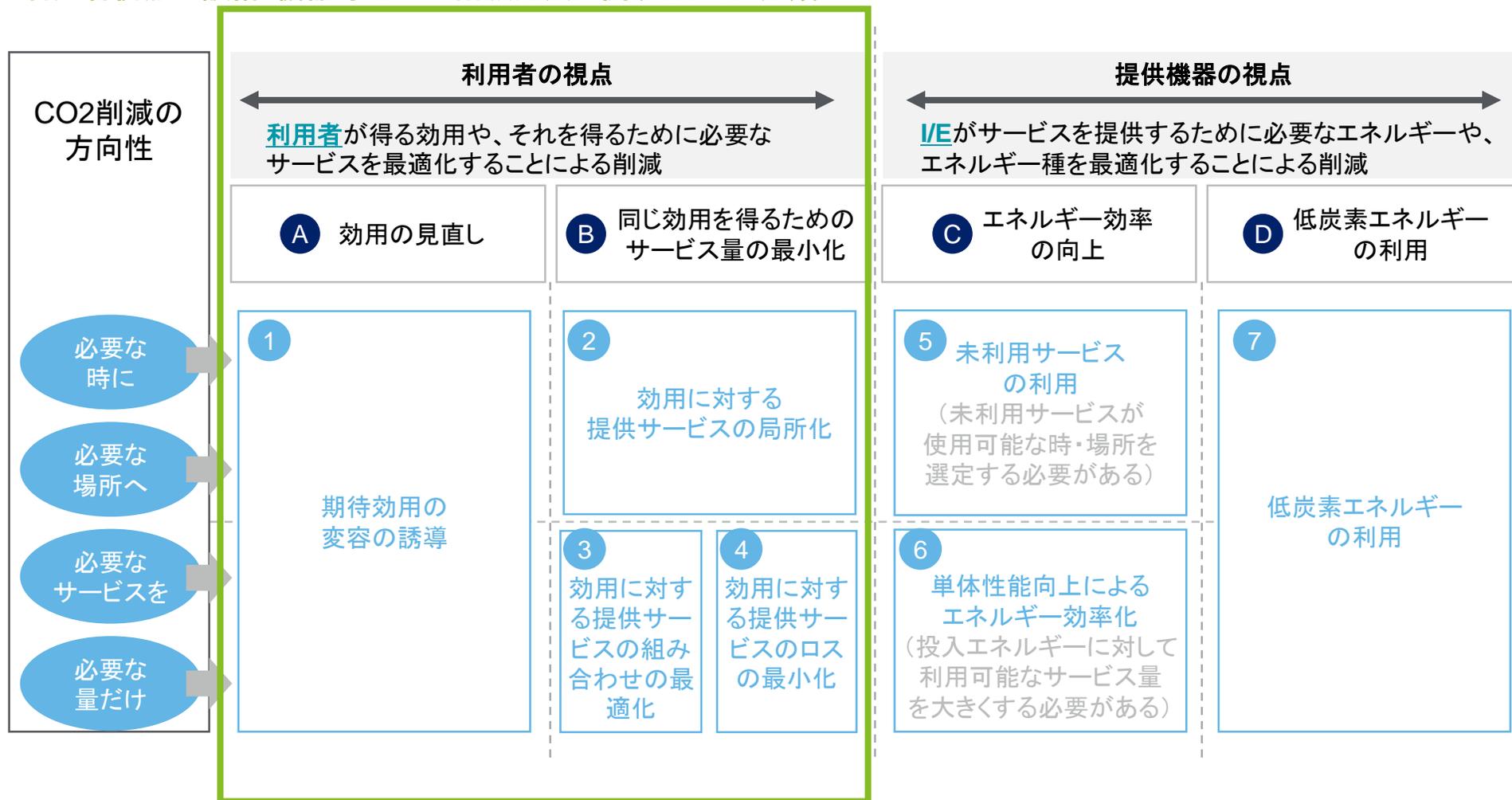
# 利用者(利用現場)の視点でCO2排出削減に取り組む設備・機器等を重点的に取り上げることを予定

## L2-Tech対象設備・機器等の重点的な拡充の方向性



# 利用者視点の設備・機器等は、「必要な時に」「必要な場所へ」「必要なサービスを」「必要な量だけ」提供する

## 利用者視点の設備・機器等のCO2削減方法に関するタイプ分類



参考:「日本流の低炭素社会像と省エネ」安井至 東京大学名誉教授

## (参考)利用者視点の設備・機器等の具体例

CO2削減タイプ	説明	具体例(I/E単体)	具体例(I/E組み合わせ)
1 期待効用の変容の誘導	ヒトの期待効用を啓蒙等を通じて見直すことで、サービス量を最小化する	<ul style="list-style-type: none"> <li>N/A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HEMS見える化(行動変容の誘導)</li> <li>エコドライブをアナウンスするカーナビ(低燃費運転への誘導)</li> </ul>
2 効用に対する提供サービスの局所化	ヒト・モノが効用が必要な時、必要な場所にだけ、サービスを提供する	<ul style="list-style-type: none"> <li>センサ制御機能付ルームエアコン(ヒトの場所・体感温度に応じて風量・温度を局所化)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タスクアンビエント空調/照明(必要な時、場所のみ必要なサービスの提供)</li> </ul>
3 効用に対する提供サービスの組み合わせの最適化	効用を実現する複数サービスをエネルギーが最小となる組み合わせにより提供する	<ul style="list-style-type: none"> <li>N/A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デシカント空調+パッケージエアコン(温度/湿度を調整しサービスを最適化)</li> </ul>
4 効用に対する提供サービスのロスの最小化	効用を実現するサービスがヒト・モノに届くまでのロスを最小化する	<ul style="list-style-type: none"> <li>N/A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空調+真空断熱材(放射温度により18°Cでなく17°Cでも快適)</li> </ul>
5 未利用サービスの利用	外部からサービス(熱・光など)を取込むことにより消費するエネルギーを最小化する	<ul style="list-style-type: none"> <li>地中熱ヒートポンプ(地中熱を熱源として利用)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボイラー+高温水ヒートポンプ(システム全体の熱削減)</li> </ul>
6 単体性能向上によるエネルギー効率化	性能向上により、サービスあたりのエネルギー消費量を最小化する	<ul style="list-style-type: none"> <li>DC/AC変換による電力ロスを解消するエアコン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>N/A</li> </ul>
7 低炭素エネルギーの利用	CO2排出係数を最小化することによってCO2排出量を最小化する	<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽熱集熱器(太陽熱をエネルギー源として利用)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽電池+蓄電池システム(再エネルギーの有効利用)</li> </ul>

- **L2-Tech WEBサイトの予告**

# 来年度初旬にL2-Techのホームページを開設予定

## ※来年度初旬のオープンに向け、2月に簡易版を開設予定

### ホームページ(来年度開設)の主な機能

#### 各種登録等 メーカー/業界団体専用

- 新たにL2-Techリスト、水準表に掲載すべき設備・機器等の提案
- L2-Tech水準表への意見提供
- L2-Tech認証への申請

#### リスト類の参照

- L2-Techリスト、L2-Tech水準表、L2-Tech認証製品一覧の参照

#### L2-Tech事業の概略等の参照(簡易版も対象)

- L2-Tech事業の概略等を参照

#### 報道発表等の参照(簡易版も対象)

- 報道発表の情報をワンストップで参照

## 4. 質疑応答